

国際平和・観光振興対策に係る主要事業について

令和3年5月21日
 地域政策局
 商工労働局
 土木建築局

項目	事業概要	取組状況等														
<p>1 国際平和拠点ひろしま構想の推進</p> <p>世界中のリーダーや研究者、NGOなど、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結び付け、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献する。</p>	<p>核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国間枠組みの形成【地域政策局】52,738千円</p> <table border="1" data-bbox="584 392 1413 683"> <tr> <td data-bbox="584 392 846 555">政策づくり事業</td> <td data-bbox="846 392 1413 555">世界的な平和研究機関等と連携し、核抑止に代わる新たな安全保障政策づくりを推進する。(ひろしまラウンドテーブル開催、核軍縮研究国際ネットワーク会議の運営、海外研究機関との共同研究、ひろしまレポート作成)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="584 555 846 683">多国間枠組み形成事業【新規】</td> <td data-bbox="846 555 1413 683">国連等と連携し、新たな安全保障政策をベースにした多国間枠組みの形成を図る。(NPT運用検討会議での働きかけ、国際平和のための対話イベント等)</td> </tr> </table> <p>平和の取組への賛同者拡大と世界への働きかけ【地域政策局】19,786千円</p> <table border="1" data-bbox="584 727 1413 858"> <tr> <td data-bbox="584 727 846 858">国際社会等へのアウトリーチ事業【新規】</td> <td data-bbox="846 727 1413 858">国連や各国政府への働きかけ強化のため、多様な団体とのネットワーク化を図る。(TPNW締約国会議等の国際会議での働きかけ、広報戦略策定等)</td> </tr> </table> <p>広島が有する経験や資源を生かした復興・平和構築【地域政策局】11,800千円</p> <table border="1" data-bbox="584 903 1413 1034"> <tr> <td data-bbox="584 903 846 1034">人材育成強化事業</td> <td data-bbox="846 903 1413 1034">核兵器廃絶と国際平和の実現のため、グローバルに活躍し、平和貢献できる人材を育成する。(グローバル未来塾inひろしま、核兵器と安全保障を学ぶ広島-ICANアカデミー等)</td> </tr> </table> <p>持続可能な平和推進メカニズムの構築【地域政策局】117,882千円</p> <table border="1" data-bbox="584 1078 1413 1315"> <tr> <td data-bbox="584 1078 846 1241">プラットフォーム構築事業【新規】</td> <td data-bbox="846 1078 1413 1241">多様な主体の参画を促すプラットフォームの構築を図るとともに、平和資源の集積機能等を備えた体制を整備する。(世界平和経済人会議ひろしまの開催、ウェブサイトを通じた賛同者拡大、へいわ創造機構ひろしまの運営等)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="584 1241 846 1315">拠点構想推進事業</td> <td data-bbox="846 1241 1413 1315">国際平和拠点ひろしま構想推進のため、構想推進委員会の開催等を行う。</td> </tr> </table> <p>ひろしまジュニア国際フォーラム【地域政策局】15,881千円</p> <table border="1" data-bbox="584 1359 1413 1450"> <tr> <td data-bbox="584 1359 846 1450">ひろしまジュニア国際フォーラムの開催</td> <td data-bbox="846 1359 1413 1450">次世代の人材育成を行うため、国内外の高校生等が国際平和についての討議や交流等を行う国際会議の開催(オンライン開催)</td> </tr> </table>	政策づくり事業	世界的な平和研究機関等と連携し、核抑止に代わる新たな安全保障政策づくりを推進する。(ひろしまラウンドテーブル開催、核軍縮研究国際ネットワーク会議の運営、海外研究機関との共同研究、ひろしまレポート作成)	多国間枠組み形成事業【新規】	国連等と連携し、新たな安全保障政策をベースにした多国間枠組みの形成を図る。(NPT運用検討会議での働きかけ、国際平和のための対話イベント等)	国際社会等へのアウトリーチ事業【新規】	国連や各国政府への働きかけ強化のため、多様な団体とのネットワーク化を図る。(TPNW締約国会議等の国際会議での働きかけ、広報戦略策定等)	人材育成強化事業	核兵器廃絶と国際平和の実現のため、グローバルに活躍し、平和貢献できる人材を育成する。(グローバル未来塾inひろしま、核兵器と安全保障を学ぶ広島-ICANアカデミー等)	プラットフォーム構築事業【新規】	多様な主体の参画を促すプラットフォームの構築を図るとともに、平和資源の集積機能等を備えた体制を整備する。(世界平和経済人会議ひろしまの開催、ウェブサイトを通じた賛同者拡大、へいわ創造機構ひろしまの運営等)	拠点構想推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進のため、構想推進委員会の開催等を行う。	ひろしまジュニア国際フォーラムの開催	次世代の人材育成を行うため、国内外の高校生等が国際平和についての討議や交流等を行う国際会議の開催(オンライン開催)	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際平和拠点ひろしま構想の策定 (H23) ○ 国際平和拠点ひろしま構想推進計画(2019-2021)の策定 (H31.3) ○ ひろしまラウンドテーブルの開催 (H25～) ○ 「ひろしまレポート」の公表 (H25～) ○ 核兵器と安全保障を学ぶ広島-ICANアカデミーの開催 (R1～) ○ 「グローバル未来塾inひろしま」の開講 (H28～) ○ オンライン平和学習講座の開講 (H30～) ○ ひろしまジュニア国際フォーラムの開催 (H28～) ○ 欧州の主要研究機関との連携協定を締結 (UNIDIR, SIPRI, PRIO, Chatham House) ○ 核軍縮研究国際ネットワーク会議の開催 (R1～) ○ 世界平和経済人会議ひろしまの開催 (H25, 28, 30, R1, 2) ○ オバマ米国大統領の広島訪問 (H28.5) ○ ローマ教皇の広島訪問 (R1.11) ○ 「国際平和拠点ひろしま」ウェブサイトの開設 (R1.10) ○ 「ひろしまイニシアティブ」骨子の発表 (R3.3) ○ へいわ創造機構ひろしま (HOPE) の設置 (R3.4) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルスの影響をみながら、NPT運用検討会議やTPNW締約国会議への参加、世界平和経済人会議ひろしまの開催等を調整 ○ 海外研究機関との共同研究等の加速 ○ グローバル未来塾inひろしま(7月25日開講)をはじめとした人材育成プログラムの実施 ○ ウェブサイト等による情報発信の継続
政策づくり事業	世界的な平和研究機関等と連携し、核抑止に代わる新たな安全保障政策づくりを推進する。(ひろしまラウンドテーブル開催、核軍縮研究国際ネットワーク会議の運営、海外研究機関との共同研究、ひろしまレポート作成)															
多国間枠組み形成事業【新規】	国連等と連携し、新たな安全保障政策をベースにした多国間枠組みの形成を図る。(NPT運用検討会議での働きかけ、国際平和のための対話イベント等)															
国際社会等へのアウトリーチ事業【新規】	国連や各国政府への働きかけ強化のため、多様な団体とのネットワーク化を図る。(TPNW締約国会議等の国際会議での働きかけ、広報戦略策定等)															
人材育成強化事業	核兵器廃絶と国際平和の実現のため、グローバルに活躍し、平和貢献できる人材を育成する。(グローバル未来塾inひろしま、核兵器と安全保障を学ぶ広島-ICANアカデミー等)															
プラットフォーム構築事業【新規】	多様な主体の参画を促すプラットフォームの構築を図るとともに、平和資源の集積機能等を備えた体制を整備する。(世界平和経済人会議ひろしまの開催、ウェブサイトを通じた賛同者拡大、へいわ創造機構ひろしまの運営等)															
拠点構想推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進のため、構想推進委員会の開催等を行う。															
ひろしまジュニア国際フォーラムの開催	次世代の人材育成を行うため、国内外の高校生等が国際平和についての討議や交流等を行う国際会議の開催(オンライン開催)															

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等																																																	
<p>2 観光地ひろしまの推進</p> <p>地域経済の活性化に向け、「ひろしま観光立県推進基本計画」に基づき、①国内外からの観光客数の増加、②日帰り客を宿泊客にシフト（特に消費額単価の高い外国人宿泊客の増加）させることなどによる観光消費額単価の上昇、③リピーターや高評価の発信に繋がる満足度の向上、に取り組むことにより、観光消費額の増大を図る。</p>	<p>観光地ひろしまの推進【商工労働局】 3,189,090 千円 （内、繰越予算 2,429,325 千円）</p> <p>本県のブランド価値の向上とさらなる来訪者増加の好循環を実現するため、観光を取り巻く環境変化を的確に把握し、落ち込んだ観光ニーズの早期回復や自立的・継続的な観光産業の確立に向けた取組を実施する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ブランド価値の向上につながる魅力づくり <ul style="list-style-type: none"> ・観光統計の拡充及びデジタルマーケティングの実施 ・観光ホームページの改修 ・マーケティングを踏まえた顧客ごとの情報発信や顧客との関係構築の推進 ・観光プロダクト開発促進のための幅広い事業者間ネットワークの形成及び専門家による事業化支援 ・事業者等が行う観光プロダクト開発支援 ・観光需要の早期回復に向けた付加価値の高い観光プロダクト開発 ○ 誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術等を活用した観光地の受入環境整備（繰越） ・おもてなしの質向上に向けた事業者の自発的取組への支援 ・広島県地域通訳案内士の育成 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 観光客数・宿泊者数の推移 <small>（単位：万人、億円、円/人）</small></p> <table border="1" data-bbox="1464 284 2107 587"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総観光客数</td> <td>6,181</td> <td>6,618</td> <td>6,777</td> <td>6,989</td> <td>6,504</td> <td>6,719</td> </tr> <tr> <td>外国人観光客数</td> <td>105</td> <td>166</td> <td>201</td> <td>243</td> <td>275</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>宿泊者数</td> <td>857</td> <td>942</td> <td>959</td> <td>963</td> <td>990</td> <td>1,009</td> </tr> <tr> <td>外国人宿泊者数</td> <td>44</td> <td>74</td> <td>84</td> <td>93</td> <td>124</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>観光消費額</td> <td>3,610</td> <td>3,865</td> <td>4,062</td> <td>4,112</td> <td>4,023</td> <td>4,410</td> </tr> <tr> <td>観光消費額単価</td> <td>5,840</td> <td>5,840</td> <td>5,884</td> <td>5,960</td> <td>6,185</td> <td>6,562</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外国人宿泊者数は、観光庁宿泊旅行統計調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ブランド価値向上につながる魅力づくり <ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光プロダクト開発支援補助金 各事業者が行う、新しい生活様式などに対応した観光プロダクトの開発支援 （R2：補助件数：27件、補助額：99,513千円） ○ 誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術等を活用した観光地スマート化推進事業補助金 （R2：補助件数：90件、補助額：846,461千円） ・広島県地域通訳案内士の育成 登録人数 158人（R3.3現在） 	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	総観光客数	6,181	6,618	6,777	6,989	6,504	6,719	外国人観光客数	105	166	201	243	275	276	宿泊者数	857	942	959	963	990	1,009	外国人宿泊者数	44	74	84	93	124	132	観光消費額	3,610	3,865	4,062	4,112	4,023	4,410	観光消費額単価	5,840	5,840	5,884	5,960	6,185	6,562
区分	H26	H27	H28	H29	H30	R 1																																													
総観光客数	6,181	6,618	6,777	6,989	6,504	6,719																																													
外国人観光客数	105	166	201	243	275	276																																													
宿泊者数	857	942	959	963	990	1,009																																													
外国人宿泊者数	44	74	84	93	124	132																																													
観光消費額	3,610	3,865	4,062	4,112	4,023	4,410																																													
観光消費額単価	5,840	5,840	5,884	5,960	6,185	6,562																																													

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島ファンの増加 <ul style="list-style-type: none"> ・観光地の安全・安心情報や新たに開発した観光プロダクト情報等の効果的な発信 ・せとうち広島 DC アフターキャンペーンの実施 ・観光客等による自主的な広島の魅力発信の促進 ○ 観光関連事業者への経営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい経営環境にある宿泊事業者等を支援するため，県内宿泊事業者が行う宿泊割引プラン及び旅行事業者が行う広島県内旅行割引プランの造成を支援（繰越） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島ファンの増加 <ul style="list-style-type: none"> ・「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」の実施（R2.10～12） ・首都圏等における共感メッセージ発信による広島のファンづくり ○ 観光関連事業者への経営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客促進事業 宿泊事業者が行う宿泊割引プラン造成支援 （R2：補助件数：385件， 延べ宿泊者数：122,353人泊） 旅行事業者が行う旅行割引プラン造成支援 （R2：補助件数：96件， 延べ利用者数：150,579人泊） ・クラウドファンディングを活用した資金調達支援 観光関連事業者支援 （R2：176事業者，支援総額：99,689千円） 飲食関連事業者支援 （R2：1,230事業者，支援総額：165,747千円） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 精度の高いマーケティングにより得られた新たな観光ニーズ等を踏まえた観光プロダクト開発の支援 ○ 全ての観光客がストレスなく安全・安心に楽しむことができるようデジタル技術等を活用した受入環境の整備 ○ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等を注視した上で，適切なタイミングでの誘客促進事業の実施 ○ 数多くの魅力的な観光プロダクトや観光地の安全・安心情報等について，ターゲットに応じた効果的な情報発信の実施

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>3 広島空港の利用促進・利便性向上による観光客の誘致</p> <p>広島空港の航空ネットワークの充実や航空機利用の利便性向上を図ることにより、観光客の誘致を図る。</p>	<p>広島空港拠点性強化事業【土木建築局】 36,676千円</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で運休している定期路線を早期復便し、航空ネットワークの維持・拡充及び航空機利用の利便性向上を図ることにより、中四国地方の拠点空港として競争力・拠点性を高めるため、航空会社等に対して必要な取組を実施する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エアポートセールス <ul style="list-style-type: none"> ・国内線の利用促進及び国際線の維持・復便等に向けた航空会社等へのセールス活動 ○ 国際定期路線緊急支援 <ul style="list-style-type: none"> ・航空会社等に対して、国際定期路線の維持及び早期復便のために必要な経費の一部を支援（令和3年4月～6月） ○ 空港アクセスバス事業者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・広島空港リムジンバスを運営しているアクセス事業者に対して、航空機の運航に合わせたバス路線・便数の復便に必要な運行経費の一部を支援（令和3年4月～6月） 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国内線については、利用促進のため、航空会社に対し、広告経費を支援 ○ 国際線については、航空会社に対し、次の経費の一部を令和3年3月まで支援 <ul style="list-style-type: none"> ・路線維持のために必要となる経費（事務所賃貸料等の固定経費） ・速やかな路線回復を図るために必要となる経費（一般共用施設使用料等、運航便数に応じて必要となる変動経費） ○ 国際線の路線維持に不可欠な機内食製造会社に対し、固定経費の一部を令和3年3月まで支援 ○ 広島空港リムジンバスを運営しているアクセス事業者に対して、路線・便数を復便するために必要な経費を令和3年3月まで支援 ○ 国に対し、全国知事会や中国地方知事会、県の施策提案を通じて、地方空港の当面の路線維持や路線の回復に必要な支援とともに、国際線の復便に不可欠となる検疫体制の充実・強化を図ることを要請 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年7月から広島空港の運営を開始する広島国際空港㈱や航空会社、関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染症の回復状況を踏まえながら、タイムリーかつ効果的な国内線の利用促進や国際線の早期復便に向けた取組を実施

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等														
<p>4 瀬戸内ブランドの確立に向けた広域観光の推進</p> <p>瀬戸内の魅力ある資源を生かして、瀬戸内ブランドを確立し、豊かな地域社会を実現するため、地域経済の活性化や交流人口の拡大を推進する。</p>	<p>せとうち DMO と連携した広域観光推進事業【商工労働局】 40,200 千円</p> <p>一般社団法人せとうち観光推進機構（せとうち DMO）と連携し、戦略的なプロモーションによって来訪意向を高めるとともに、瀬戸内の周遊、滞在につながる観光プロダクトの開発に取り組み、瀬戸内エリアへの誘客を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 瀬戸内ブランドの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・せとうち DMO による国内外へのプロモーションや観光プロダクト開発と販売促進 など <p>国際サイクリング大会開催事業【商工労働局】 7,372 千円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際サイクリング大会開催準備 <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年に開催予定の「サイクリングしまなみ 2022」（仮称）の開催に向けた検討・準備 ○ 観光資産の魅力づくり（他県連携事業） <ul style="list-style-type: none"> ・中国 5 県で連携した広域サイクリングコースの P R 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光庁の広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」の認定（H27. 6） ○ 「瀬戸内ブランド推進連合」を日本版 DMO「一般社団法人せとうち観光推進機構（せとうち DMO）」に発展改組し、推進体制を強化（H28. 3～） ○ 瀬戸内 7 県や関係機関等と連携した観光プロモーション等の取組による外国人延宿泊者数の増 (単位：万人) <table border="1" data-bbox="1429 520 2067 604"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀬戸内 7 県の外国人延宿泊者数</td> <td>154</td> <td>260</td> <td>291</td> <td>350</td> <td>398</td> <td>440</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出典：観光庁宿泊旅行統計調査結果</p> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ せとうち DMO 等と連携した瀬戸内の魅力を活かした観光プロダクトの開発 ○ 国内及び海外における新型コロナウイルス感染状況等を踏まえた上での国内外へのプロモーション等の推進 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・H26. 10. 26 参加者 7,281 名（大規模大会） ・H28. 10. 30 参加者 3,539 名（中規模大会） ・H30. 10. 28 参加者 7,215 名（大規模大会） <p>※R 2 大会中止</p> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次回の国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ 2022」（仮称）について、夏頃に参加人数等を定めた基本方針を発表予定 	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	瀬戸内 7 県の外国人延宿泊者数	154	260	291	350	398	440
区分	H26	H27	H28	H29	H30	R 1										
瀬戸内 7 県の外国人延宿泊者数	154	260	291	350	398	440										

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>瀬戸内海クルージング促進事業（客船誘致受入） 【土木建築局】 41, 714 千円</p> <p>クルーズ客船の誘致・受入体制の充実を図るため、平成 26 年に設立した「広島港客船誘致・おもてなし委員会」を中心に、誘致活動及びより良いおもてなしを実施する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クルーズ客船の誘致・受入 <ul style="list-style-type: none"> ・客船寄港時のおもてなし実施 ・船社等訪問 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ H26 年度に世界最大級の大型クルーズ客船の寄港が可能となるよう五日市埠頭を改良し、H27 から大型クルーズ客船の受入を開始した。 ○ 国内外の船社等へ積極的にセールスを行ったことで、R 元年度は広島港への初入港が 6 回あるなど、寄港回数全体では 57 回と過去最高となった。 ○ しかしながら、R2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセルで寄港回数が 2 回と激減しており、国内クルーズに係るガイドラインを策定するなどの対応を行っている。R3 年度以降の予約は入っているものの、今後しばらくはこの傾向が続くと思われる。 <p>[客船寄港回数]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26 : 18 回 ・H27 : 32 回 ・H28 : 51 回 ・H29 : 48 回 ・H30 : 48 回 ・R 1 : 57 回 ・R2 : 2 回 ・R3 予約 : 33 回 (R3. 4. 22 現在) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長期的観点から寄港増加を図るため、瀬戸内海という特性を生かしたクルーズ実施の増加、クルーズ発着港となるなど拠点性の向上、初来訪者とリピーターの双方に対応するため世界遺産以外の寄港地観光メニュー開発などに向け検討を行う。 ○ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、収束した段階で、船社や代理店に対し、従来の主要観光メニューに加え体験型ツアーの提案、世界最大級の客船受入可能な港湾施設のアピール等を行うほか、「広島港客船誘致・おもてなし委員会」を中心に官民一体となって受入体制の充実を図る。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等																																				
	<p>瀬戸内海クルージング促進事業（クルージング需要の掘り起し） 【土木建築局】 1,734 千円</p> <p>プレジャーボート等による海からの観光地訪問や瀬戸内海クルージングを促進するため、瀬戸内クルージングポータルサイトによる情報発信等により、クルージング需要の掘り起しを図る。</p> <p>《事業内容》</p> <p>○ 瀬戸内クルージングポータルサイトの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジター桟橋の基本情報等の発信 ・利用希望者からの問い合わせ対応等をワンストップで実施 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ これまで、県内外への瀬戸内クルージングのPR、クルージング環境の創出、ビジター受入桟橋の拡充等に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内クルージングポータルサイト開設 (H24 年度) ・ボートショー出展、県外マリーナ訪問、ガイドブック配布 (H25 年度～) ・体験乗船会への助成 (H25 年度～H27 年度) ・チャーターボート事業の創業支援 (H26 年度) ・宮島ビジターバースの供用開始 (H26 年度) ・瀬戸内クルージングポータルサイト情報の拡充 (桟橋情報の拡充、英語版ページ作成、スマートフォンページ作成など) (H27 年度) <p>○ 気象条件を受けることにより、利用隻数が左右される面はあるものの、おおむね利用は増加傾向にあり、約半数は県外からの利用である。</p> <table border="1" data-bbox="1456 861 2060 1212"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用隻数</th> <th>(実隻数)</th> <th>県外利用割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・H25</td> <td>3,593 隻・日</td> <td>(2,009 隻)</td> <td>51.0%</td> </tr> <tr> <td>・H26</td> <td>4,961 隻・日</td> <td>(2,214 隻)</td> <td>54.7%</td> </tr> <tr> <td>・H27</td> <td>5,254 隻・日</td> <td>(2,350 隻)</td> <td>60.8%</td> </tr> <tr> <td>・H28</td> <td>5,047 隻・日</td> <td>(2,451 隻)</td> <td>49.7%</td> </tr> <tr> <td>・H29</td> <td>6,422 隻・日</td> <td>(2,517 隻)</td> <td>55.8%</td> </tr> <tr> <td>・H30</td> <td>5,480 隻・日</td> <td>(2,249 隻)</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>・R1</td> <td>4,708 隻・日</td> <td>(1,968 隻)</td> <td>51.8%</td> </tr> <tr> <td>・R2</td> <td>4,174 隻・日</td> <td>(1,800 隻)</td> <td>41.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「隻・日」は利用日数でカウントした延べ隻数</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ クルージング需要者の掘り起しに向けサイトの利便性の向上など、引き続き、県内外に瀬戸内海クルージングのPR等を行っていく。</p>	年度	利用隻数	(実隻数)	県外利用割合	・H25	3,593 隻・日	(2,009 隻)	51.0%	・H26	4,961 隻・日	(2,214 隻)	54.7%	・H27	5,254 隻・日	(2,350 隻)	60.8%	・H28	5,047 隻・日	(2,451 隻)	49.7%	・H29	6,422 隻・日	(2,517 隻)	55.8%	・H30	5,480 隻・日	(2,249 隻)	50.0%	・R1	4,708 隻・日	(1,968 隻)	51.8%	・R2	4,174 隻・日	(1,800 隻)	41.1%
年度	利用隻数	(実隻数)	県外利用割合																																			
・H25	3,593 隻・日	(2,009 隻)	51.0%																																			
・H26	4,961 隻・日	(2,214 隻)	54.7%																																			
・H27	5,254 隻・日	(2,350 隻)	60.8%																																			
・H28	5,047 隻・日	(2,451 隻)	49.7%																																			
・H29	6,422 隻・日	(2,517 隻)	55.8%																																			
・H30	5,480 隻・日	(2,249 隻)	50.0%																																			
・R1	4,708 隻・日	(1,968 隻)	51.8%																																			
・R2	4,174 隻・日	(1,800 隻)	41.1%																																			

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>みなとの賑わいづくり事業【土木建築局】 2,489,000千円</p> <p>「瀬戸内ブランド」の形成に資する「瀬戸内 海の道構想」の一環として、多くの人を訪れ、憩い、楽しめる、活気と賑わいのある魅力的な空間を創出するため、みなとを臨海部の賑わい拠点として整備し、観光・交流機能の強化を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厳島港宮島口地区 <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路，立体駐車場等の整備 ○ 広島港宇品地区 <ul style="list-style-type: none"> ・岸壁の延伸 ・入出国審査スペースを備えたクルーズターミナルの整備 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島港（宇品・出島地区） <ul style="list-style-type: none"> ・宇品・出島地区において、賑わい空間の創出を図るため、海辺に点在する魅力的な商業施設や緑地等を回遊する環境整備として、これまでプロムナード、案内施設、照明施設の整備やトイレを改修した。 ・H30年度の波止場公園，広島みなと公園の利用者数は約13万人であり，H24年度の約8万人に比べ増加している。 ・宇品地区ではクルーズ船の寄港が年々増加して，R元年度の寄港回数は50回となっていたが，R2年度は新型コロナウイルスの影響で2回となっている。 ○ 厳島港 <ul style="list-style-type: none"> ・宮島口地区において，新たな浮棧橋及び旅客ターミナルを整備した。 ・R2年度に立体駐車場工事に着手した。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島港（宇品・出島地区） <ul style="list-style-type: none"> ・宇品地区について，大型クルーズ船の受入に対応した新たなクルーズターミナルを整備する。 ○ 厳島港（宮島口地区） <ul style="list-style-type: none"> ・港湾利用者の利便性・快適性の向上や，くつろぎ・賑わい空間の創出を図るため，アクセス道路や緑地等を整備する。

項目	事業概要	取組状況等
<p>5 県内の観光資源をつなぐネットワークの形成</p> <p>本県は、豊かな自然や歴史的な町並み、風光明媚なサイクリングロードなど、国内外からの観光客を呼び込むための多彩で魅力ある観光資源を多数有しており、本県の強みである井桁状の高速道路ネットワークを最大限活用することにより、更なる観光交流人口や観光消費額の増加が期待されている。</p> <p>このため、観光周遊を促進する道路ネットワークの強化と、サイクリングロードのブランド力向上に資する取組を推進する。</p>	<p>観光周遊を促進する道路ネットワークの強化【土木建築局】 (主な箇所の予算額計) 2,911,000千円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光振興に資する道路ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路 I C から観光地への道路整備 ・観光地の振興や交通の安全確保、観光地間を連絡する道路整備 <p>【イメージ図】</p> <p>※観光地：海水浴場、スキー場、サイクリングロードを含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ しまなみを核としたサイクリングネットワークの形成とサイクリストの受入環境向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ナショナルサイクルルートである「しまなみ海道サイクリングロード」をはじめとした県内サイクリングロードの環境整備、情報発信等 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光周遊を促進する道路ネットワークの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・観光周遊を促す道路ネットワークを形成する一般国道432号竹原バイパス等の整備を推進するなど、集客・交流機能の強化に取り組んでいる。 ○ サイクリングロードのブランド力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・しまなみ海道は官民が連携し、走行環境、受入環境の充実や国内外への情報発信を行っており、R元.11には、国からナショナルサイクルルートに指定された。また、サイクリング来訪客数はR元までの6年間で約5割増加し、「道路整備計画2016」におけるR2時点の目標値である年間約35万人を上回る状況(R元:37.6万人)で推移していたが、R2は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、R元比で約5割減(R2:18.8万人)となっている。 ・その他県内のサイクリングロードについても、路面案内標示等の設置や様々な情報発信等の取組を行っており、やまなみ街道サイクリングロードの周遊コースについては、R2に路面案内標示等の整備が完了した。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光振興に資する道路ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・高速 I C から観光地までの道路や観光地間を連絡する道路の整備を進めるとともに、観光地の振興や交通の安全確保を図る。 ・移動時間の短縮により観光地での滞在時間を拡大し、来訪者の満足度向上等に寄与する。 ○ しまなみを核としたサイクリングネットワークの形成とサイクリストの受入環境向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地域と一体となって、様々なハード、ソフト対策を推進する。 ・ナショナルサイクルルートに指定されているしまなみ海道サイクリングロードでは、自転車走行環境の整備等を行っていく。また、関係機関と連携し、しまなみ海道自転車通行料金無料化継続に取り組む。 ・その他の県内サイクリングロードでは、路面案内標示等が未整備の区間について、関係機関と連携し、順次整備を行っていく。